

機械器具 32 医療用吸引器
管理医療機器 電動式可搬型吸引器 (JMDN コード : 36616030)

デスクトップ型電動鼻水吸引器 NO-07

【警告】

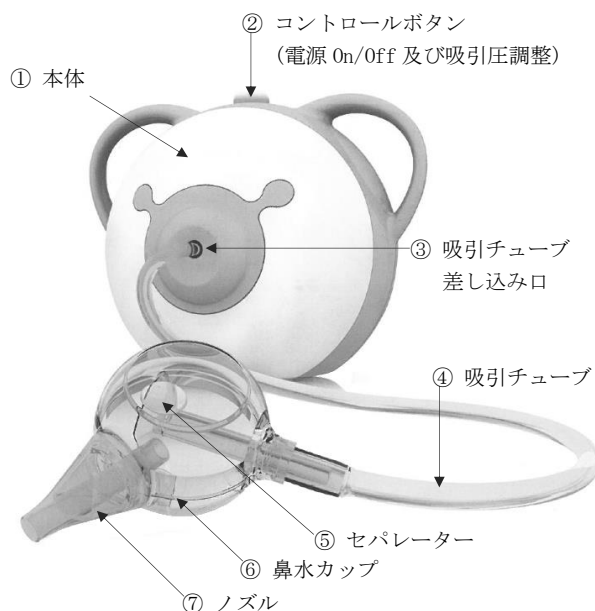
- ・本製品は鼻孔内の分泌物、粘液（鼻水）を取り除く専用器具です。他の目的には使用しないこと。
- ・鼻孔内に病気がある場合、傷、出血や炎症がある場合には使用しないこと。
- ・適用対象者に鼻の病気がある場合には、本器の使用可否について医師に相談してから使用すること。
- ・本製品を新生児、乳幼児の手の届くところには保管しないこと。[ノズル誤飲の恐れがあるため]
- ・電源コードやチューブが首などにからまないように注意すること。

【禁忌・禁止】

- ・以下の場合には使用しないこと
 1. 血友病患者
 2. 頻繁に鼻出血がある患者
 3. 抗凝固薬を投与されている患者
 4. 先天性奇形（口蓋裂）の患者
- ・本体を水又は液体で洗淨しないこと。また、濡れた手で電源コードを取り扱わないこと。[感電や故障の原因となるため]
- ・本品の仕様及び使用上の注意等に示された使用条件を満たさない状況で使用・保管、修理や改造、調整などを行わないこと。[けがや故障の原因となるため]

【形状・構造及び原理等】

1. 本体の形状図



2. 本体の寸法

縦 175 × 横 200 × 高さ 155 (mm) 公差±10%

3. 原材料（体に接触する部分）

- ・本体（ABS 樹脂）
- ・チューブ（シリコン）
- ・ノズル（TPE）
- ・鼻水カップ（ポリカーボネート）

4. 電氣的定格及び分類等

- ・電源電圧：AC100V 50/60Hz
- ・消費電力：350W（最大）
- ・定格入力：370VA
- ・作動モード：非連続作動運転
- ・最大作動（入）時間：15 分
- ・最小休止（切）時間：50 分
- ・電撃に対する保護の形式：クラスⅡ機器
- ・電撃に対する保護の程度：BF 形装着部
- ・電気機械器具の外郭による保護等級：IP21

5. その他の仕様等

- ・吸引圧：-8 kPa ±15%
- ・ポンプ排気流量：35 L/min ±15%

6. 動作原理

本品は陰圧を生み出す動力源を有し、その力を利用して鼻孔内の分泌物及び粘液（鼻水）を吸い出す事が出来る。吸い出された鼻孔内の分泌物及び粘液（鼻水）は鼻水カップに貯まる。鼻孔内の分泌物及び粘液（鼻水）は鼻水カップから取り除く事が可能で、この吸い出す過程は必要に応じて連続的に行うことが出来る。

【使用目的又は効果】

本品は鼻孔内の分泌物、粘液（鼻水）の吸引に使用する吸引器である。

【使用方法等】

1. 使用前準備

- 各パーツが汚れなく乾燥しているか確認する。
- (1) セパレーターを鼻水カップ（コネクタあり）のコネクタに差し込み、反対側の鼻水カップ（コネクタなし）と組み合わせ、ノズルを接続する。
- (2) 吸引チューブを鼻水カップのコネクタへ接続する。
- (3) チューブを鼻水カップのコネクタへ接続する。
- (4) 上記(3)と反対側の吸引チューブ端を本体の吸引チューブ差し込み口へ接続する。
- (5) 電源コードを本体へ接続する。
- (6) 電源コードプラグをコンセントへ接続する。

2. 使用方法

- (1) 必要な吸引圧へコントロールボタンを回して調整する。
- (2) 清潔で乾燥したノズルを鼻孔へ当てる。
- (3) コントロールボタンを押し、起動させる。
- (4) コントロールボタンを回して弱(min) - 中 - 強(max)の圧力を調整する。吸引は比較的弱い吸引圧からスタートし、鼻水の状態やお子様の様子を確認しながらダイヤルで吸引圧を調整する。

吸引圧の設定目安

吸引圧	対象
弱(min)	新生児
中[弱(min)と強(max)の間]	乳幼児
強(max)	幼児・小児

- (5) ノズルを円を描くように動かして分泌物及び粘液（鼻水）を吸引する。吸引された分泌物及び粘液（鼻水）は鼻水カップへ流入する。必要であれば反対側の鼻孔も同じように行う。
- (6) ノズルを鼻孔から離す。
- (7) コントロールボタンを押し、吸引を停止させる。

3. 使用後

<電源の取り外し方>

- (1) コントロールボタンが Off になってモーターが停止していることを確認する。
- (2) 電源プラグをコンセントから抜く。
- (3) 電源コードを本体から抜く。

<鼻水カップ等>

- (1) 本体の吸引チューブ差し込み口から吸引チューブを外す。
- (2) 鼻水カップから吸引チューブとノズルを外す。
- (3) 鼻水カップを分解し、セパレーターを外し、各パーツに付着している 鼻孔内分泌物、粘液（鼻水）を廃棄する。

<洗浄・消毒等>

機器の使用後は取扱説明書をよく読み、定められた手順で洗浄、消毒を行うこと。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- ・10 秒以上連続して吸引を行わないこと。「粘膜を傷つけるおそれがあるため」
- ・複数人で共用する場合は新品のノズルを使用するか消毒を必ず行うこと。[感染症の恐れがあるため]

2. 使用注意

- ・使用前には毎回、各パーツがしっかり取り付けられているか確認すること。[吸引不良の原因となるため]
- ・使用中に発疹、発赤、かゆみ等の症状が現れた場合はすぐに使用を中止し、医師に相談すること。
- ・本体・付属品等は子供や乳幼児の手の届かない場所に置くこと。[誤飲やけがの恐れがある]
- ・子供だけの使用はさせない。必ず医師または医療従事者の指導のもと使用すること。[けがの恐れがある]
- ・使用中は本体背面の通気口をふさがないこと。[故障、不具合などの原因となる]
- ・使用中は過熱した熱気が通気口より排出される場合があるため近づかないこと。[火傷の恐れがある]
- ・吸引カップの最大容量は 5ml であるため、これ以上の容量の吸引は行わないこと。[故障、不具合などの原因となる][感染症の恐れがあるため]
- ・電源を Off にした後もモーターの冷却プロセスを行うため短時間作動する。冷却プロセス停止後、電源コードをコンセントから抜くこと。[機器保護のため]
- ・過度に負荷がかかったり、機器が過熱した場合には保護装置が働き、機器が停止し運転操作が行えなくなる。モーターが冷却されて保護装置が解除され、再び使用できる。[機器保護のため]
- ・機器に強い衝撃を与えたり、落としたりしないこと。[故障、不具合などの原因となる]
- ・本製品の付属品以外は使用しないこと。[故障、不具合などの原因となる]
- ・必ず専用の電源コードを使用すること。[故障、不具合などの原因となる]
- ・本体のネジやゴムパーツを外さないこと。[衝撃を与える可能性がある]

- ・機器の分解・修理・改造をしない。[故障、不具合などの原因となる]
- ・機器に損傷や故障、異常が疑われる場合は使用しない。またこれらが使用中に生じた場合は直ちに使用を中止する。[けがや故障、不具合などの原因となる]
- ・シンナー、溶剤等、溶剤等でパーツの洗浄を行わないこと。[パーツの変形、変色などの原因となる]

【保管方法及び有効期間等】

- ・周囲温度：-10～+40℃、相対湿度：≤75%RH(結露なきこと) [故障や不具合など、製品性能に悪影響を及ぼす場合がある]
- ・直射日光、電磁波、ホコリなどは避けて保管する。
- ・乳幼児や小さな子供の手の届くところは避けて保管する。
- ・傾斜、振動、衝撃等に注意し、安定した場所に保管する。
- ・水などの液体のかかる場所は避けて保管する。

【保守・点検に係わる事項】

1. 日常点検

安全にご使用いただくため、使用前には下記の点検を実施すること。

- (1) 機器に折れ、キズ、ひび割れ、汚れ、腐食がないことを確認すること。
- (2) 電源コードの破損、断線、キズ、プラグの変形がないことを確認する。
- (3) 洗浄剤や消毒剤が機器に残っていないか確認すること。
- (4) フィルターの汚れ、目詰まりの確認を行い、ひどい場合は交換すること。

2. 機器の洗浄、消毒方法

使用後は定められた手順で洗浄、消毒を行い、取扱説明書を参照して元の状態に戻すこと。

<本体>

- ・乾いた布でふき、汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を含ませた布を固く絞り、汚れをふき取る。

<ノズル、鼻水カップ>

- ・鼻水カップよりチューブとノズルを外す。
- ・鼻水カップを分解し、逆流防止管を外し、各パーツに付着している 鼻孔内分泌物、粘液（鼻水）を廃棄してぬるま湯、中性洗剤で洗浄を行う。
- ・必要に応じて、部品（ノズル、鼻水カップ、吸引チューブ）を消毒することができる。使用される消毒液がベビー用品に安全に使用できることを必ず確認すること。

3. 詳細は取扱説明書を参照すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名または名称等】

製造販売業者：株式会社ジェイ・シー・ティ

〒731-0138

広島県広島市安佐南区祇園一丁目 28 番 7 号

082-871-3308

外国製造業者：Attract Kft.

輸入先国：ハンガリー

取扱説明書を必ずご確認ください。